

第1章 概要

1. 位置・地勢

長野県の北西部に位置する大町市は、「北アルプス一番街」といわれるように、その西部は中部山岳国立公園の急峻な北アルプスの山岳を連ねています。

北の五龍岳から南の槍ヶ岳山頂までを納める市域は、総面積 564.99 km²で長野県全体の約 4.2%を占める広大な地域です。市街地の標高は 700m 余り、典型的な内陸性の気候で、北アルプスの山々を映す仁科三湖やダム湖があり、豊富な温泉にも恵まれて、四季を通じて山岳観光都市としての地勢を備えています。

大町市役所 大町市大町 3887 番地
東 経 137° 51' 3"
北 緯 36° 30' 10"
標 高 726m

2. 沿革

大町市の歴史は古く、旧石器時代から縄文、弥生、古墳時代にかけて数多くの遺跡が発掘されています。平安時代末期には伊勢神宮内宮の仁科御厨（御領）が設定され、皇室の信頼が厚かった豪族の仁科氏がこれを預かり勢力を得て、この地方を治めたことから「仁科の里」と呼ばれるようになりました。仁科氏は開発に力を入れるとともに、京都の進んだ文化を取り入れ、国宝「仁科神明宮」等のすぐれた文化財を残しました。江戸時代以降は、松本藩に属し千国街道（塩の道）の宿場町として発展しました。昭和 29 年 7 月 1 日に大町、平村、常盤村、社村の 1 町 3 村が合併して大町市が誕生しました。

また、平成 15 年 3 月に、大町市、北安曇郡八坂村及び同郡美麻村の 3 市町村で任意合併協議会を設置し、合併協議を進め、平成 16 年 2 月には法廷合併協議会に発展させ、平成 18 年 1 月 1 日に合併特例法の適用を受け 3 市村の合併が実現しました。

3. 人口及び面積

(人口：外国人を除く)

面積	広さ	世帯数	人口			備考
			総数	男	女	
564.99 km ²	東西 34.3 km 南北 36.3 km	11,774 世帯	29,050 人	14,076 人	14,974 人	27.4.1 現在

4. 市の木・花・獣・鳥



5. 姉妹都市

氷見市（富山県） 提携年月日 S47. 11. 20

立川市（東京都） 提携年月日 H3. 3. 25

インスブルック（オーストリア） 提携年月日 S60. 2. 18（友好提携）

大町山岳博物館とインスブルック市のアルペン動物園も友好提携の調印

メンドシーノ（アメリカ合衆国） 提携年月日 S55. 5. 31（旧美麻村と姉妹都市提携）

6. 産業分類別就業者数

（H 22. 10. 1 国調）

区分	総数		男		女	
	人数（人）	構成率（%）	人数（人）	構成率（%）	人数（人）	構成率（%）
産業別総数	14,812	100.00	8,388	100.00	6,424	100.00
第1次産業	1,363	9.20	790	9.42	573	8.92
第2次産業	4,385	29.61	3,270	38.98	1,115	17.36
第3次産業	8,859	59.81	4,199	50.06	4,660	72.54
分類不能	205	1.38	129	4.54	76	1.18

年齢別人口構成の推移

